

定点観測者としての通信社

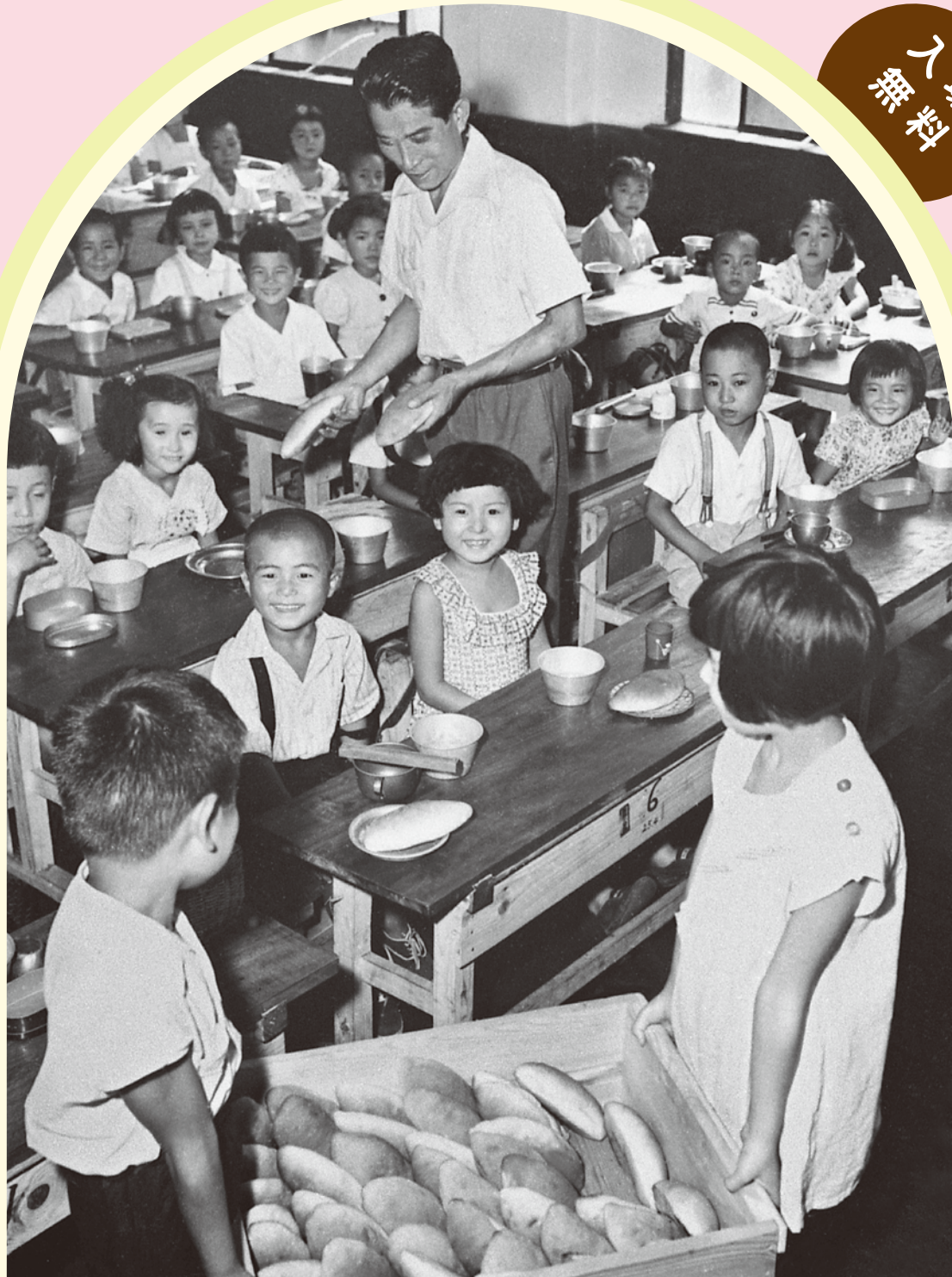
Photo Exhibition
報道写真展

A news agency as eyewitness

食の戦後史

— 飢餓、飽食、美食 —

入場無料



1950年9月4日、東京都中央区の東華小学校で、主食とおかず、牛乳がそろった「完全給食」が開始

会期
2026年2月10日〔火〕

9時～21時〔初日10時から／最終日18時まで〕

会期中無休

27日〔金〕

Postwar Food History in Japan -Hunger, Plenty, and Gastronomy-

会場 汐留シオサイト 地下歩道 特設スペース

主催 公益財団法人新聞通信調査会

協力 共同通信社

 新聞通信調査会
JAPAN PRESS RESEARCH INSTITUTE

食の戦後史 — 飢餓、飽食、美食 —

食べることは、生きること——

報道写真でたどる、戦後日本の食と社会

闇市、闇米、買い出し列車、ユニセフミルク…終戦直後の飢餓の時代を必死に乗り越えてきた
インスタント、レトルト、コンビニ、ファストフード…高度成長は食の世界に手軽さと効率を求めた
O157、BSE、添加物、遺伝子組み換え…楽しみだった食に暗い影を落とす時代があった
五つ星レストラン、B級グルメ、子ども食堂、炊き出し、古古古米…「失われた30年」の果てには
飽食と飢餓が同居する社会が待っていた

101枚の報道写真で「食」が映す社会の変遷をたどる

プロローグ：

昭和・平成・令和の「米騒動」

第1章：「イヤダ!! 餓死は」

第2章：多様化—社会の変化を映して

第3章：食の事件史

第4章：到達点と未来

エピローグ：食—生きる原点



1946年5月12日、東京・世田谷の「米よこせ区民大会」で皇居を目指すデモ隊



1991年10月、青森県弘前市の加工工場に運び込まれた、台風で落下した大量のリンゴ



2008年5月22日、食肉偽装事件で破産した北海道苫小牧市の食肉加工販売会社の屋上から撤去される牛の像



2021年6月1日、愛知県常滑市で食品製造技術の展示会が開かれ、総菜を弁当に詰めるロボットが紹介された



2025年6月1日、政府備蓄米の販売店を視察する小泉進次郎農相(中央)

[会場] 汐留シオサイト 地下歩道 特設スペース

東京都港区東新橋1丁目付近 <https://www.sio-site.or.jp/>

[交通] JR線：新橋駅徒歩2分

地下鉄銀座線 新橋駅徒歩2分

地下鉄浅草線 新橋駅徒歩1分

地下鉄大江戸線 汐留駅 徒歩1分

ゆりかもめ 汐留駅 徒歩1分

